

「水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム」の活動方針

本プラットフォームは、収益性と信頼性及び国際性の高い産業の創出をめざし、安全・安心、高品質な水産物を環境に配慮しつつ低コストで生産する日本の新規増養殖システムや新たなビジネスモデルを構築することを目的に活動する。これを達成するために、産学官の連携と水産業以外の異分野との連携を通じて、必要な研究開発・市場開発を推進し、現在の水産業が抱える課題の解決と、新規事業の創出を目標に行動する。

1. 革新的な技術やアイデアの発掘からコンソーシアム形成のためのマッチングを行う。
2. プラットフォームに参加する会員から意見を聞き、現場のニーズを把握して新規研究開発につなげる。
3. 異分野との対話により自らが抱える課題の解決に向けた「気づき」などを産みだす「対話の場」として活用する。
4. 研究成果を商品化・事業化へ創出するため研究開発はスピードを重視する。
5. 研究会やワークショップ等を通じて先行的なアイデアに挑戦してコンソーシアムを形成する「この指とまれ」方式で活動を実施していく。
6. コンソーシアム活動の独立性・機密性は、その設置準備段階から保証する。
7. 知的財産については、プラットフォームでは各会員がオープンにしている研究情報を基本としつつ、研究コンソーシアム内で秘密保持契約・協定等を交わして個別に議論・検討する。
8. 内部コンソーシアムの成果については、セミナーやワークショップを通じて公表可能な成果をプラットフォーム内で共有する。